



平成31年1月9日

各位

会社名 株式会社トライアンフコーポレーション
代表者名 代表取締役 小澤 勝
(コード番号 3651 TOKYO PRO Market)
問合せ先 経営管理部 部長 末次 達也
(TEL 03-5332-6751)

第三者割当による新株式発行に関するお知らせ

当社は、本日の取締役会において、下記のとおり、株式会社ファイ・ブリッジに対する第三者割当による新株式発行（以下「本第三者割当増資」といいます。）を行うことを決議したので、お知らせします。

なお、本第三者割当増資は、本日別途公表している「臨時株主総会招集のための基準日設定及び臨時株主総会開催日並びに付議議案に関するお知らせ」に記載の臨時株主総会の承認を得ることにより行います。

記

1. 募集の概要

(1) 払込期日	平成31年3月4日
(2) 発行新株式数	当社普通株式 2,200株
(3) 発行価額	1株につき2,970円
(4) 調達資金の額	6,534,000円
(5) 募集又は割当方法	第三者割当の方法による（割当先：株式会社ファイ・ブリッジ）

2. 募集の目的及び理由

株式会社ファイ・ブリッジは、M&A仲介業務を行っており、M&Aにより外部成長を図る当社の経営戦略にとっても重要な利害関係者であるため、関係強化を図る目的で資本提携を行うこととしました。

3. 調達する資金の額、使途及び支出予定時期

(1) 調達する資金の額

(1) 払込金額の総額	6,534,000円
(2) 発行諸費用の概算額	—
(3) 差引手取概算額	6,534,000円

(2) 調達する資金の具体的な使途

支出時期は未定ですが、全額運転資金に充当する予定です。

4. 資金使途の合理性に関する考え方

今回の調達は少額であるものの、資本の増強により当社の財務基盤の強化、中長期的な企業価値・株主価値の向上に寄与し、ひいては株主利益の向上に資するものと考えております。

5. 発行条件等の合理性

(1) 払込金額の算定根拠及びその具体的内容

本第三者割当増資は、株主総会の決議を経て行われる予定であることから、記載を省略いたします。

(2) 発行数量及び株式の希薄化の規模が合理的であると判断した根拠

本第三者割当増資により新規に発行する株式数は 2,200 株（議決権 22 個）であり、本第三者割当増資前の当社の発行済株式数 1,160,600 株に対する割合は 0.19%と僅少であり、希薄化の規模に関して特段の問題はないものと判断しております。

6. 割当予定先の選定理由等

(1) 割当予定先の概要

① 名 称	株式会社ファイ・ブリッジ		
② 所 在 地	東京都目黒区中目黒二丁目 9 番 11 号		
③ 代表者の役職・氏名	代表取締役 滝本 真二		
④ 事 業 内 容	M&A 仲介業		
⑤ 資 本 金	2,000 万円		
⑥ 設 立 年 月 日	平成 18 年 5 月		
⑦ 発 行 済 株 式 数	20,000 株		
⑧ 決 算 期	12 月		
⑨ 従 業 員 数	4 名		
⑩ 主 要 取 引 先	株式会社クラフト		
⑪ 主 要 取 引 銀 行	新生銀行		
⑫ 大株主及び持株比率	滝本 真二 100%		
⑬ 当事会社間の関係	資本関係	該当事項はありません。	
	人的関係	該当事項はありません。	
	取引関係	M&A 案件の紹介を受けており、これに関連する取引関係があります。	
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。	
⑭ 最近3年間の経営成績及び財政状況（単体）	（単位：百万円。特記しているものを除く。）		
決 算 期	平成 27 年 12 月	平成 28 年 12 月	平成 29 年 12 月
純 資 産	23	23	25
総 資 産	24	26	26
1 株当たりの純資産（円）	1,187 円 34 銭	1,211 円 85 銭	1,314 円 47 銭
売 上 高	51	65	24
営 業 利 益	0	3	0
経 常 利 益	0	3	0
当 期 純 利 益	0	2	0
1 株当たり当期純利益（円）	24 円 51 銭	102 円 62 銭	3 円 54 銭
1 株 当 たり 配 当 金	—	—	—

(2) 割当予定先を選定した理由

株式会社ファイ・ブリッジは、当社に対してM&Aアドバイザリー業務を行っており、関係強化を図る目的で資本提携を行うこととしました。

(3) 割当予定先の保有方針

長期保有の予定であると説明を受けています。

(4) 割当予定先の払込みに要する財産の存在について確認した内容

当社は、割当予定先から、払込みに要する資金は確保されている旨の報告を受けており、また、割当予定先の財務諸表の記載等により、払込みに要する十分な現預金その他の流動資産を保有していることを確認していることから、払込みに支障はないと判断しています。

7. 募集後の大株主及び持株比率

募集前（平成30年9月30日現在）			募集後		
1	小澤 勝	95.18%	1	小澤 勝	84.41%
2	有限会社山屋商店	1.34%	2	安田 昭夫	6.84%
3	香取 義一	1.10%	3	宮園 秀秋	2.93%
4	鈴木 一成	0.67%	4	有限会社山屋商店	1.19%
5	末次 達也	0.33%	5	香取 義一	0.98%
6	小田切 祐志	0.19%	6	林 早紀	0.59%
7	今野 英通	0.19%	7	鈴木 一成	0.59%
8	鈴木 忠	0.19%	8	株式会社ファイ・ブリッジ	0.48%
9	中井 慎司	0.14%	9	陣野 喜右	0.34%
10	野村 累	0.11%	10	末次 達也	0.30%

(注) 1. 募集前については、平成30年9月30日現在の株主名簿を基準としています。

2. 募集後については、平成30年8月22日付「株式取得及び株式交換による株式会社C2の完全子会社化に関するお知らせ」に記載する株式交換（115,000株発行）及び平成30年11月7日付「簡易株式交換による株式会社黒島商研の完全子会社化に関するお知らせ」に記載する株式交換（1,600株発行）並びに本日別途開示している「株式取得及び株式交換による株式会社ミードの完全子会社化に関するお知らせ」に記載する株式交換（14,400株発行）の影響を加味し、その他の異動がないことを前提として記載しています。

8. 今後の見通し

本第三者割当増資が平成31年9月期連結業績に与える影響は軽微です。

9. 企業行動規範上の手続き

本第三者割当増資は、希薄化率が25%未満であり、支配株主の異動を伴うものではないことから、独立第三者からの意見入手及び株主の意思確認手続きは要しません。

以上